

業務名称：2025年度-2028年度JICA海外協力隊募集関連業務支援ユニット業務委託契約

（公告日：2025年2月21日 調達管理番号：24a01044）について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
国際協力調達部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 5	(2) 業務内容 1) 募集説明会運営補助	・「会場の予約から支払い及び0V 謝金の支払いに関しては、国内機関の実施分についても対応する。」とありますが、国内機関の実施分についても対応するのが、列記されている(ア)～(ト)の業務のいずれなのか、明示していただけるとわかりやすいです。	該当する業務は、(ア)～(エ) (ケ) (ツ)～(ト)です。 仕様書への記載方法も検討いたします。
2	P. 7	(2) 業務内容 2) 国際協力関連イベント出展補助	・「イベント出展申し込みから出展費支払い及び0V謝金の支払いに関しては、国内機関の実施分についても対応する。」とありますが、国内機関の実施分についても対応する「イベント出展申し込みから出展費支払い」が、列記されている(ア)～(シ)の業務のいずれなのか、明示していただけるとわかりやすいです。	該当する業務は、(ア)～(エ)、(シ)です。 仕様書への記載方法も検討いたします。
3	P. 7	(2) 業務内容 2) 国際協力関連イベント出展補助	・「イベント出展申し込みから出展費支払い及び0V謝金の支払いに関しては、国内機関の実施分についても対応する。」とありますが、国内機関の実施分についても対応する「0V謝金の支払い」は、「1) の(ケ)(ツ)(テ)」で間違いございませんでしょうか。	ご理解の通り、国内機関の実施分についても対応する「0V謝金の支払い」は、1) (ケ) (ツ) (テ)です。
4	P. 8	(2) 業務内容 3) 協力隊セミナー運営補助	・「0V 謝金の支払いに関しては、国内機関の実施分についても対応する。」とありますが、国内機関の実施分についても対応する「0V謝金の支払い」は、「1) の(ケ)(ツ)(テ)」で間違いございませんでしょうか。	ご理解の通り、国内機関の実施分についても対応する「0V謝金の支払い」は、1) (ケ) (ツ) (テ)です。
5	P. 8	(2) 業務内容 4) 窓口業務	・「(イ) 回答の際は、LINE 公式アカウントのAI チャット機能を利用して回答案を作成し、事務局の確認を経たうえで問い合わせ者へ回答する」とありますが、電話での問い合わせに対してもこのようなやり方をする、ということで間違いございませんでしょうか。	電話での問い合わせに対しては、ウェブサイト等の公開情報を参照しつつ、対応者が可能な範囲で直接回答を行います。 上記について、仕様書への追記を検討いたします。
6	P. 11	(3) 想定業務量	・計「60人月」とありますが、これは1年間でしょうか、3年間でしょうか。 ・下記プレ公告・公示の4ページ目には「想定業務量：1か月あたり60人日」とありました。 https://www.jica.go.jp/about/announce/buppin/detail2/_icsFiles/afieldfile/2025/02/28/pekoji_250228.pdf ・業務仕様書（案）の内容からは、少なくとも3名は必要だと思います。（年間で36人月）	仕様書及び積算フォーマットの記載に誤りがありましたので訂正いたします。 正しい想定業務量は以下の通りとなります。 業務総括者：12人月/年 業務従事者A：12人月/年 その他の業務従事者：12人月/年 計：36人月/年
7	P. 11	(4) 想定業務量に関する補足事項 1) 募集説明会	・「会場型説明会の現場運営補助に関する業務は、東京都開催分のみが対象。」とありますが、東京都開催は1募集期に何回程度となる見込みでしょうか。	会場型説明会の回数は、青年海外協力隊事務局の派遣実施方針に従い決定いたしますが、1～8回程度を想定ください。以下、過去3年の実績（東京都開催）となりますのでご参考ください。 2022年春：5回 秋：8回 2023年春：7回 秋：9回 2024年春：8回 秋：1回 2025年春：5回（イベント（協力隊まつり）内実施を含む）
8	P. 11	(4) 想定業務量に関する補足事項 1) 募集説明会	・募集説明会業務の会場型の運営補助は「東京都」のみになっていますが、国内拠点の意向を確認し、少なくとも関東圏は交通の便もいいのでユニットに追加してはどうでしょうか。	「会場型説明会の現場運営補助に関する業務は、東京都開催分のみが対象。」の点は国内拠点にも確認済みの事項となります。対象地域を関東圏とするかどうかについては検討のうえ、必要に応じて仕様書へ反映いたします。
9	P. 11	(4) 想定業務量に関する補足事項 2) 国際協力関連イベント	・「ブースの運営補助に関する業務は、東京都で開催されるイベントのみが対象」とあり、「4. 業務の実施内容 (2) 業務内容2) 国際協力関連イベント出展補助」では「その他のイベントについては事務局及び国内機関で検討する。」とありますが、東京都およびそれ以外の道府県でそれぞれ年に何回程度出展する見込みでしょうか。	80回程度を想定しております。なお、積算フォーマット「会場借料、イベント出展料等」の金額はこれらの出展料を含みます。

通番	該当頁	項目	質問	回答
10	P. 12	(4) 想定業務量に関する 補足事項 3)協力隊セミナー	・中長期的にJICA海外協力隊に対する関心層の拡大を図るためには、「潜在層」「無関心層」へのアプローチにより将来の応募者層に当たる「関心層」への引き上げを狙う必要があり、「協力隊セミナー」はその達成に向けた重要な要素となるため、ユニットを核として各国内機関と協議・連携し、全体の戦略をユニットで策定したうえで実施してはどうでしょうか。 ・必要に応じ、ユニット職員が実施先との調整、企画、当日運営等も行うことで、実施先との関係構築や実績・経験が事務局に蓄積されると思います。また、過去の実績を鑑み少なくとも想定実施回数を300回としてどうでしょうか。 ・また、仕様書では少なくとも想定回数を明示してもらえないでしょうか。	「協力隊セミナー」の重要性に関してはご指摘の通りですが、支援ユニットの業務はあくまで定型事務の支援・補佐を想定しております。受注者側で同施策に関する知見や情報を共有いただくことは歓迎ですが、戦略策定を含め、仕様書で指定のない業務（実施先との調整、企画、当日運営等）は、事務局及び国内機関が実施いたします。協力隊セミナーは、実施先からの依頼に基づき実施決定されますが、想定実施回数は全国で300回程度となります。仕様書にも追記いたします。
11	P. 13	7. 経費支払方法 (2) 支払条件	・直接経費に関しては概算払いをしてもらえないでしょうか。	検討します。なお、概算払いの場合、当該年度内に支払った直接経費をすべて精算する必要があります。
12	P. 20	積算フォーマット Ⅰ. 業務の対価（報酬） 1. 直接人件費	・工数の数量、単位が「20人月」になっていますが、3年なので「36人月」ではないでしょうか。	仕様書及び積算フォーマットの記載に誤りがありましたので訂正いたします。 正しい工数の数量は以下の通りとなります。 業務総括者：36人月 業務従事者A：36人月 その他の業務従事者：36人月
13	P. 20	積算フォーマット Ⅱ. 直接経費 1. 一般業務費	・定額計上で金額が記載されていますが、これは1年分でしょうか、3年分でしょうか。 ・また、下見積書を試算する際は、この金額を使用するのでしょうか。	仕様書及び積算フォーマットの記載に誤りがありましたので訂正いたします。 正しい一般業務費は以下の金額で、下見積を試算いただく際はこちらの金額をご使用ください。 会場借料、イベント出展料等 17,427,200円（単価）×3年（数量・単位）＝52,281,600円 0V謝金等 6,383,200円（単価）×3年（数量・単位）＝19,149,600円 また、別紙3「第4 経費に係る留意点」1. （1）2）直接経費（定額計上）について、正しい金額は以下の通りです。 ・会場借料、イベント出展料等：52,281,600円（3年間） ・0V謝金等：19,149,600円（3年間）
説明書の訂正				
通番	該当頁	項目	訂正前	訂正後
1	P. 11	(3) 想定業務量	業務総括者：20人月 業務従事者A：20人月 その他の業務従事者：20人月 計：60人月	業務総括者：12人月/年 業務従事者A：12人月/年 その他の業務従事者：12人月/年 計：36人月/年
2	P. 18	2) 直接経費（定額計上）	・会場借料、イベント出展料等：17,427,200円 ・0V謝金等：6,383,200円	・会場借料、イベント出展料等：52,281,600円（3年間） ・0V謝金等：19,149,600円（3年間）
3	P. 12	(4) 想定業務量に関する 補足事項 3)協力隊セミナー	追記	想定実施回数は全国で年間300回程度。